

ケアマネ 通信くしろ

2026.2.3 発行

発行

釧路地区介護支援専門員連絡協議会

事務局

鶴ヶ岱ケアプラン企画センター
釧路市鶴ヶ岱1丁目10番46号

TEL 0154-42-0700

FAX 0154-65-7252

第 71 号



あらためてソーシャルワークを学ぶ ～その人の人生の物語に寄り添う対人援助～

令和7年12月12日、釧路市生涯学習センターまなぼつとにて、2025年度釧路地区介護支援専門員連絡協議会・北海道介護支援専門員協会釧路ブロック共催研修が開催されました。

今回の研修は前山憲一氏を講師に迎え、対人援助を行う上で大切である対人援助理解について講義を受けながら演習を通してグループワークを行いました。講義の中でケアマネジメントの本質とは「寄って、集って、その人を幸せにすること」と野中猛先生のお言葉にあるように、一つの専門分野ではなく他分野とのつながり多職種連携を図ること、またアセスメントによる当事者理解が、最低限度の生活だけではなく幸福追求権行使の支援につながると話されていました。

アセスメントを通してデマンド（表面的な要求）だけではなく裏に潜んでいるニーズ（生きる目標）を引き出していくことが重要になってくるため、私たちケアマネジャーは洞察力を磨き、自分の先入観等ではなく「なぜ？」を繰り返し思考する。そのために必要になるのが、私たちケアマネジャーの対人技術です。面談・相談の基本は「聞き上手」（傾聴）であると話されていました。前山氏が話されていたことは基本的なことのはずなのに日々の業務に追われ（恥ずかしい言い訳です）、傾聴がおろそかになっていることがあるのではないかとハツとしてしまいました。

演習ではミッシングワーカーの支援について、アセスメントや課題を通してそのような支援ができるのかグループワークを行い検討しています。今回は多職種ではないですがみなさんの意見を聞くことでいろいろな考えがあることを改めて感じました。前山氏はグループワーク後に「答えが見つからなくても一緒に考えることが大事である」と話されていたが、常に対象者に寄り添うことが大切であることを学ばせていただきました。

対象者理解は、支援の質を深めるだけではなく私たちケアマネジャーの成長にもつながると、二口会長も話されていました。皆さんからも「あらためてソーシャルワークの機能と、私たちの役割を再確認できた研修でした。あっという間の3時間半、もっと聞いてみたいと思いました。」「また機会があれば、前山先生の講義お願いしたいです。」などなどアンケートをいただきました。ケアマネジャー新人の私にとっても今回の研修は大変有意義な研修となりました。今回の学びを日々の業務に活かしていきたいと思います。（朝倉）



令和7年度釧路市介護給付適正化 ケアプラン点検研修会

【テーマ】「認知症の方のケアマネジメント」

【講師】一般社団法人 北海道ケアマネジメントサポートリンク 大島 一樹先生

今回ケアプラン点検のヒアリングでは『対話型ケアプラン点検』と、利用者の意向や生活目標が反映されているか対話を通じて確認。点検を受けたケアマネジャーからは「穏やかな雰囲気のできたので良かった。」「指摘ではなく、気づきを促してくれたので分かりやすかった。」と、点検を受けて色々勉強になりとても良かったという声が多かったです。

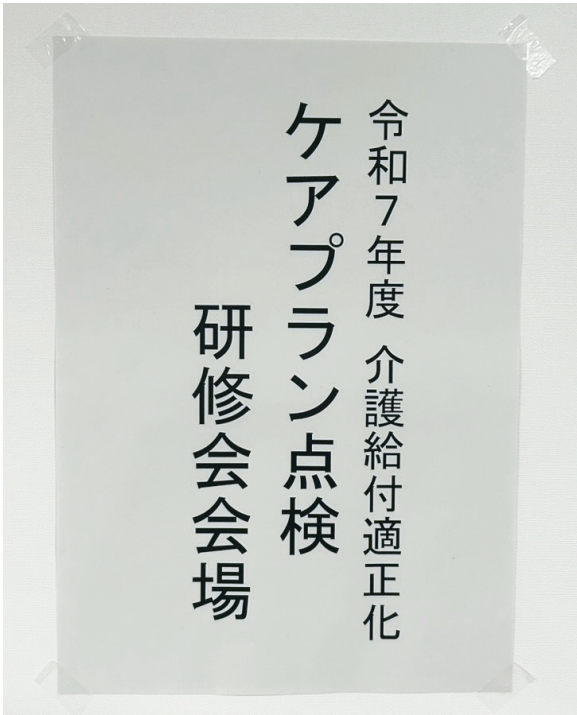
今年度のケアプラン点検終了後研修は「認知症の方のケアマネジメント」について、ケアプラン点検者の大島先生と言語聴覚士の南部先生とでお話をして下さいました。

研修内容は認知症のおさらいと最新情報、認知症の方のアセスメントからケアプラン作成、モニタリング、認知症の方を支える社会資源について資料に添って進み、スケール評価では実際に山口式キツネ・ハト模倣テストをみんなで行い、笑い声も聞こえるなど和やかな雰囲気の間面もありました。

日頃、認知症の方へのアセスメントはできることよりもできないことの方が見えてしまいがち。生活歴や日常の様子、家族や周囲の関り方などを詳しく聞き取ること支援の方向性を整理し、ご本人様にとって適切な目標設定や支援内容の検討ができる。

『広がる聞き取り』の重要性について理解を深めることができました。今回の研修を活かし、今後のケアマネジメントに役立てていきたいと思ひます。

(伊東)



令和7年度
介護給付適正化
ケアプラン点検
研修会会場



定期巡回・随時対応型

訪問介護看護メルシー

住所 釧路市桜ケ岡1丁目11番27号

電話 080-9614-4056 (高橋)

(株)介護サービスわたなべが運営する『定期巡回随時対応型・訪問介護看護メルシー』。同法人の住宅型有料老人ホーム内での提供に加え、令和2年8月から在宅利用者へのサービスを提供している。

今回は在宅利用部門のご紹介。旧釧路市内を対象にサービス提供。職員は全てフルタイムで7名。うち計画作成責任者(訪問介護のサービス提供責任者に相当)は2名在籍している。

主な利用者像としては、大きく分けて2パターンが多くみられる。**パターン1** 比較的ADL自立度は高いが認知症があり、服薬管理や食事の準備が困難になってきた方。**パターン2** 要介護度4・5でおむつ交換など生活全般に介助が必要な方や、ターミナル期の方。

また、状態不安定な利用者などでは、急な体調の変化時に、必要なだけ訪問回数を増やしたり、連携先訪問看護に指示を仰ぎ、ケア内容を見直したり、場合によっては病院受診につなげたり柔軟な対応が可能だ。月額報酬定額制のため、ケアマネとしては限度額調整の負担が軽減されるのも一つの特徴。

計画作成責任者の高橋様はこう話す。『関わった事がないケアマネさんには事業の仕組みがわかりにくい部分もあると思います。ご依頼があれば20分程度の出前説明会にお伺いしますので、ぜひお気軽にお声掛けください!』

(相澤)



訪問看護ステーション りぼん

住所 釧路市愛国西1丁目31番20号

電話 0154-64-9923

令和7年4月1日新規開設された訪問看護ステーションりぼん。

りぼんという名前は、「利用者と地域を(りぼんで)結びたい」という思いを込めて、名づけられたそうです。

現在管理者の池田様を含め4人体制。

釧路市内の訪問看護で唯一緩和ケア認定看護師が在籍されており、要支援の方から終末期の方まで対応可能。

地域に根付いたステーションにしていきたいとのこと、どんな小さなことでも良いのでいつでもご相談ください。とお話ししてくださいました。

りぼんという名前の通り、“むすぶ・つなぐ”ことを大切にしながら多職種連携に取り組まれており、私たち介護支援専門員にとっても、心強い事業所です。

(村松)

4月1日 新規開設!

訪問看護ステーション りぼんです!

**緩和ケア認定
看護師在籍**

**24時間対応
可能**

土・日・祝日も訪問しますのご相談ください

利用者と地域をむすび、多職種とのきずなを
大切にするステーションにします!

在宅看護指導士・終末期ケア専門士の資格を
持つスタッフもいます

**いつでも
ご相談ください**

事業所番号: 0164190225

訪問看護ステーション りぼん

住所: 085-0057
釧路市愛国西1丁目31番20号

TEL: 0154-64-9923

FAX: 0154-64-9924

管理者: 池田結梨子

防災用品 備えていますか。



先日12月8日夜、青森県沖を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、北海道でも最大震度5強の強い揺れが観測されました。幸い津波などによる大きな被害の報告等は少なかったものの、停電や交通への影響が広がり、不安とともに非常時の備えの大切さを実感しました。防災への意識は皆様どのように考えていましたか？昨今はBCPの整備など、業務に「防災」が以前よりも組み込まれてきたことで意識は以前よりも強くなっているとは思いますが、災害はいつ起こるかわかりません。自宅にいる時に被災するとは限らず、職場や自分の車などにも準備が必要です。

まずは職場に常備できる飲料水や非常食を準備しましょう。目安は1人3日分。私達の業務内容を考えると、外勤中に災害に合う可能性もあるかもしれないので最低限の水と非常食はあってもいいかもしれませんね。

避難用バッグも準備し、懐中電灯や予備電池、携帯充電器、ラジオで情報を確保し、救急セットやマスクも用意しておくで安心感が増します。冬場の災害に備え、毛布や防寒具もあるといいですね。

また、避難経路や集合場所は全員で共有し、定期的に訓練を。

災害は「いつ」ではなく「いま」起こるかもしれません。みんなで支え合う防災準備を、今日から少しずつ見直していきましょう😊

(相澤)



2次避難用チェックリスト	
1人につき1つ以上必須	
<input type="checkbox"/> 3日分の水*1日3L計算	<input type="checkbox"/> ランタン
<input type="checkbox"/> 3日分の食料 (缶詰/レトルト食品、野菜ジュース、ドライフルーツなど)	<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー
<input type="checkbox"/> トイレ24時間分	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
<input type="checkbox"/> カセットコンロ/ボンベ (3-5本)	<input type="checkbox"/> 目隠しボンチョ
<input type="checkbox"/> 夜袋/エアーマット	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ
家族の内1人のみが準備	
<input type="checkbox"/> ラジオ	<input type="checkbox"/> 除菌シート/ウェットティッシュ
<input type="checkbox"/> ドライシャンプー	<input type="checkbox"/> ポリタンク (水用)
<input type="checkbox"/> 救急セット (絆創膏、包帯、ガーゼ、消毒液、ビシットなど)	<input type="checkbox"/> 紙皿/ラップ
<input type="checkbox"/> 箸/割り箸	<input type="checkbox"/> その他 (個々人が必要なもの)
<input type="checkbox"/> メガネ/老眼鏡	<input type="checkbox"/> 幼児用ミルクセット
<input type="checkbox"/> 杖	<input type="checkbox"/> 体温計
<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 筆記用具、メモ用紙
<input type="checkbox"/> 常備薬、お薬手帳	<input type="checkbox"/> カイロ/アルミシート

編集後記

ケアマネ通信71号をお読み頂きありがとうございます。年の瀬の雰囲気一年の早さをしみじみ感じる頃となりました。自分自身も多忙と寒さで気忙しさを勝手に感じておりました。感染症も流行る時期ですので、皆様もお体に気を付けてお過ごし下さい。

(大槻)